

2005-9-7 (水)



# 日刊工

## Business & T

発行所©日刊工業新聞社2005

本社 電話 03・5544・7000 東京都中央区日本橋小網町14-1 大阪支社 電話 06・6346・3321 大阪市中央区北

### ボーイング機5機10年リース

# サハリン航空から受注

## ITC

アイ・ティー・シー・リーシング(ITC)、東京都中央区、中山智夫社長、03・3555・3621)はロシアのサハリン航空から、10年間の航空機リース契約でボーイング737-200A

機5機を受注した。旧ソ連時代を含め日本企業がロシアの航空会社に米ボロイング社の航空機を引き渡すのは初めてという。リース資産総額は5機で約25億円。1機当たりのリース収入は月額5

万円(約550万円)を見込む。サハリン航空がエクソン石油、シェル石油と結んでいる長期チャーターフライト契約から得る月額120万円の外貨収入は、ロシアのエトロフ銀

行にエスクロー口座(特別な預託口座)として預けられる。その中から自動的・優先的にリース料を引き落とせる契約を結んでいるのが特徴。1飛行時間当たり280万円を担保にしている。

現在はITCがボーイング機を所有しているが、今後、投資家向けに所有権を販売していく。投資家はリース料から管理費などを除いた月額約350万円の収入が見込めるという。

これまでサハリン航空は、ロシア製イリュシン62型機を使っていたが、燃費効率が高いボーイング737型機に比べて3分の1程度のため、ボーイング機をリース導入することにした。

米国デルタ航空が使用していたボーイング737-200A機の中古機を購入し、米国アリゾナ州にあるハミルトン・エアロテック社で整備し、1機を引き渡した。残りの4機は年内に引き渡す予定。

中山社長は伊藤忠商事の出身。世界ヘリコプター協会の初代リース・ファイナンス部会・会長を務めるなど、航空機リースの専門家。現在は中華ヘリコプター協会(中国北京市)の専務理事を務める。